
マブラヴ転生記

アズラーイール

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マブラヴ転生記

【Nコード】

N8009X

【作者名】

アズラール

【あらすじ】

朝目覚めたら、なぜか体が赤ちゃんになっていた。どうやら自分は、アメリカの財閥の御曹司のようで・・・

プロローグ

ううん・・・

朝は気持ちいいな　・・・・・・・・

・

つて！？あれ！？体が動かない！

よく見ると体が小さくなっていた。

うそだろ・・・・・・・・これは夢だ！そうに違いない！

『夢ではないぞよ』

ううん幻聴が聞こえてきた・・・疲れているんだきつと！

『幻聴ではないぞ』

また聞こえて気tt・・・・・・・・どうやら事実のようだ

『認めたか・・・・・・・・すまんちょっと手が滑って・・・・・・・・』

手が滑ってどうしたんだよ！

『間違えて死なせてしまいました。ごめんなさい』

ふざけんじゃねええ！！一応アメリカの某有名大学に留学して

マ0クロ0フトへの就職も決まっていたんだぞ！

『すまんすまん、その代わりに能力は、スーパーコーディネイターの2倍の能力を与えたし、そのほかにも空想上のあらゆる技術のデータと設計図を与えるから』

すげーチートじゃないか！

しかし主人公は、このときまだこの世界が死亡フラグ満載であるということを知らなかった。

『それと、5歳になったときに贈り物を与えるから、楽しみにしていてね』

わかった楽しみにしておくよ

『それじゃーね』

数分後

「旦那様、ご子息がお目覚めになりました。」

「そうかよかった……心配したぞ……引き続き看病を頼むぞ」

「はいわかりました。」

どうやら昨日から高熱に見舞われていたらしい

それにさっきカレンダーを見たんだが、西暦1975年らしい……

けっこう昔だな……まあいいか

さて、どう行動しようか

5歳になりました

ムルタ・アズラエルです。

顔は、某ギアス使い

ええあれから、5年がたちましたよ。

その間にいろいろありましたが……………

聞いていませんよ……………こんな死亡フラグが満載な世界だなんて！

何ですか！BETAって！あの気持ち悪い化け物め！……………

それにあの物量！あれは脅威の一言しか言えません！畑から兵士が
取れるというソ連を

はるかに上回る物量だなんて！

ちなみに私は、アメリカでも5本指に入るアズラエル財閥の御曹司
らしいです。

生き残るために頑張らなければ……………

アズラエル財閥は、手広く事業をしているらしいですが、主に軍事
関連の産業が多いようですね

後戦術機ですか……。まだ西暦1980年なのにもう2足歩行兵器があるんですか……

前の世界じゃあ考えられないことです。うん

それに宇宙開発も尋常じゃあないですね、今はあの忌々しい化け物どもに追い出されたらしいですが

月に何個も恒久的な基地があつたそうですね。

まあ、けっこう技術が進んでいそうですね、チート技術を定着するのはけっこう早いかもしれません

side out

sideブルーノ・アズラエル

うむ、我が息子は天才だ！しかし成長が早すぎて可愛気がないが

わずか3歳のときに一般の工学科の大学

の問題を解き、そして飛び級に飛び級を重ねて4歳の時には、アメリカの名門の大学を卒業していた。

そこでは、画期的な技術の論文を発表したり、新しい装甲剤たしか発泡装甲だったかを開発したりと

いろいろと驚かされている。しかし少しはいろいろと自重をしてほしいものだ、いやこれらのことは、

別に悪くないのだが……その……視線が……な……親の敵
を見るような目で

しかもこの前はcpuとosを改良するといって、5万ドルほしい
と言ってきたのでまあチャレンジすること

は、いい事だから金を与えて『好きに改良しなさい』と言った、そ
れがこの前完成したので今日見せて

くれるそうだ。それにこの前戦術機のシュミレーターを使ったとき
に、出た適正が今までにないほどに

高かったようだ……我が息子ながら恐ろしい

しかしもしも、あやつに弟ができたとき、その弟はとても苦勞する
だろうな……兄が異常なのだからな……

side out

side ムルタ

「では父上、この前作ったosの性能をお見せしましょう」

「うむ」

「では衛士の方、今日はよく出向してくれてありがとうございます。」

「

「アーサー・トワイニング中尉であります。よろしく願いします」

「ジョージ・マックスウェル少尉であります。」

「じゃあ、マックスウェル少尉が新型OS搭載機に乗ってください」

「新型のOSの性能を見てみたいものです。」

「そうですか、ではシュミレーターにお乗りください」

「はい」

数分後

「では戦闘を始めます」

「では行きますよ」

「食らえ！」

36mm機関銃がこちらに撃ってきた

「よっよっよ！」

すごい機体と思った通りに動いてくれるぞ

「くそ！あたらない！」

ダダダダダ

「どうです！この機動！」
と私が言ったら

「確かにすごいですけど、そんな無茶をしたら駆動系が持ちませんよ」

とマックスウェル少尉が言った

「あ……………」

「機体のことを考えていなかったんですね」

「……………」

「って言うか！無駄口叩かず集中してください！」

「わかりました」

「くそ！なぜ当たらん！」

なんて機動だ！前のosだったらこんな機動はできないぞ

「では行かせていただきます！」

衛士が乗っている戦術機へ向けて軽快なステップをしつつ接近した。

「なにこの！」

ダダダダダダ

「ぬお！く！」

そして間合いに入った

「食らえ！」

すげー侍の剣術の動きなんかもインプットされている！

「何！ジャパニーズサムライの剣術だと！」

こいつこんなことできたか？

「うおりゃああ！」

「こちらとて負けてたまるかー！」

ズバ！

『トワイニング機管制ユニット部切断により衛士死亡』

「ふう、勝った」

「しかしすごいな、マックスウエル」

「いえこのosのおかげですよ、あらかじめ動きがインプットされているからそれを選択するだけです」

前のosはいちいち入力しないといけなかったし、途中で動作のキヤンセルができるのもいいですね、おかげで硬直しませんし」

「そんなにすごいのか？」

「ええ、これが大量に配備されれば1機1機の戦闘力が増大しますね。」

「どうでしたか？」

「すばらしいです。ただこのosに機体の性能が追いついていないような気がします」

「そうですか」

「でもこれは革新的です！これが全軍に配備されることを願っています！」

「ありがとうございます」

数時間後 自宅にて

「いやあ〜マックスウェル少尉たちの興奮ぶりはすごかったな〜」

「osの技術者たちも驚いていたし、まあこれで戦死者は少しは減るだろうし」

「アジアと欧州の連中には我が合衆国の楯となってもらおう」

欧州の連中が、大規模な反撃作戦（パレオロゴス作戦）に失敗して戦力が低下しているからな

あの忌々しい化け物が合衆国の国土を踏み荒らすなど許さん

「ええ、多分このosは採用されるでしょうから、我々に莫大な金が転がり込みます」

「それと、この学習用AIこれで衛士たちの負担が軽減されて、訓練期間も短縮できるでしょうし」

「そのAIに超鋼スチール合金に発泡装甲、新型osなどの新型技術によって戦力は強化されるだろう」

「まあ特許もとっているし」

「osはやるが、装甲材の技術はやらんつもりだけだな」

「ですが、自己中心な黄色い猿どもと面の皮の厚い北の熊どものことです。真似をしてくるかもしれません……」

「真似れるものなら真似てみる、冶金技術の差で無理だろうがな」

「確かにそうですね、コンピュータ技術もあまりなさそうですね」

「高い粗悪品ができるだけだろうな」

「確かにそうですね」

「それに、近いうちにソ連は、アラスカを租借するかもしれません」

「ん？あの熊どもが？」

「ええ、たぶんBETAたちの進行スピードがとても速いので……」

「確かにそうかもしれないな」

「もしもそのような事態になった場合、ソ連は合衆国にそこまで強く出ることができなくなります」

「そうだな……しかしお前が我が家の息子でよかった」

「ありがとう父さん」

「ではまた明日」

「ええ」

自室にて

「ん？これは？」

そこには腕輪みたいなやつと手紙があった

『ひさしぶり、約束通りに贈り物だよ、まあ有効活用してね』

『多機能型腕輪』

ボタンがあつたので押してみると

ホログラムのような画面に『空想取り寄せデパート』と出た

どうやら、空想上のものを購入できるようだ……………

うん、なんか負ける気がしないな……金で購入するようだが、自分は巨大財閥の御曹司だし

あれらの特許と販売でさらに莫大な金が転がり込んでくるだろうか
ら、金に困ることはない

それに、自動シールド発生装置もついていた。

『G弾』の直撃にも耐えられると書いてあるがG弾って何だ？

まあいい、このリングは有効活用させてもらおうしよう

まずは、MSの開発だな、戦術機は弱すぎるからな

既存の戦術機から派生するものは主に輸出用として生産しよう。

MSは合衆国軍が使用する。これでいいはずだ、既存の戦術機でも改良すればまあまあ使えるだろうし

ユーラシア諸国には楯になってもらう

後はマストライバーの建設だな、宇宙に逃げることも考えれば必要になるだろうし

大量の物資を打ち上げることができるからな、月はなんとしてでも欲しい

ルナ・チタニウムが取れるからな、それに、ガンダニウム合金もぜひ欲しい

そのためには宇宙に製造施設を作る必要があるからな。

後は、ビーム兵器とレールガンの開発だな・・・まあいろいろとやることが目白押しだ

自分が生き残るために頑張るとするか・・・

リニアガンってすごいね

あれから1年たちました。

OSとAIは採用され、我々に多大な利益をもたらしました

今日は新開発したリニアガン・タンク（外見はガンダムの61式戦車5型）

のお披露目式をします。

2連装にしたことから、速射性能が上がりましたし

何よりも弾速がとてですし貫通力もありますからね

光線級と重光線級の迎撃をほとんどものとしなない弾速とかなりの遠距離から突撃級をいとも簡単に粉碎する威力がありますからね

集中砲火をすれば要塞級だってイチコロです

スペックは

全長	11.6 m
車体長	9.2 m
全幅	4.9 m
全高	3.9 m
懸架方式	トーションバー式
速度	120 km/h
主砲	120 mm 2連装リニアガン

副武装 7・62mm主砲同軸機関銃

20mmガトリングガン

7・96mmガトリングガン

乗員 2名

コストは、現在の主力戦車m1エイブラムズの1・5倍

ええ、エンジンとバッテリーを魔改造したら、BETAもびっくりの化け物戦車に

なってしまいましたよ……ほんとに

ちなみにガトリングガンは、闘士級と戦車級を倒すためにある。

砲塔の旋回スピードもすごく向上させたため、急な攻撃にもすぐに対応できる。

それと指揮官用のホバートラックもお披露目します。

地底からBETAが出現すると言うことが結構起きているらしいから

なんかいいものないかな～と思っていたら、そうだ！ms08小隊のホバートラックがあつたじゃないか

と思い早速作ることにした。

ホバークラフト自体は、あつたのでそれを改造することにした。

スペックは

最高速度 200km/h

武装 20mmバルカン砲

装備 可変式伸縮アンテナ

回転式ヘリスコープ

サーチライト

ソナー

20mmバルカン砲は、闘士級・戦車級から身を守るため

超高性能ソナーによって地中のBETAを探知することができる

さて今からまず戦車の走行を見せることとなった

グオオオオーーーー！！

そして戦車とは到底思えないその機動性に

「あれ……戦車か？」

「ええ……まあ……そうなっていますけど……」

「それにあの速度……すごい……」

「陸の王者が蘇ったか……」

「……（戦術機よりも強くない？）……」

そして次はリニアガンの試射

カキョーーーン！！

と甲高い音が聞こえ

突撃級の前面の装甲の硬さを再現した装甲板を遠距離から紙のように貫通した。

それから試射を続け、うまく縦から当てた場合一気に12匹ほど貫通させて倒せることがわかった

「なんだよ、あのリニアガン・・・・・・・・」

「すごい威力だ・・・・まるで紙のように突撃級の装甲を・・・・」

「凄すぎる・・・・あの戦車」

「・・・・戦車兵達は喜ぶだろうな・・・・この戦車」

陸戦の王者の地位は戦術機に譲っていましたね

そして毎分60発という驚異的過ぎる速射性能と最大速度で動きながらも

90パーセント的に当てる事ができるという命中性能に

「うん・・・・すごいね」

「これ戦車？」

「ああ・・・・凄すぎる・・・・」

「戦術機が少しかすんで見えてきた。平原での戦いは、この戦車を使ったほうがいいな」

「すごいな……しかしハイブへ突入する際は戦術機の出番だろうな……平原では……」

次にホバートラックの走行試験が始まった

ブウウウン！！

その足の速さにみなが驚いていた

「うん、指揮官の生存率はこれで上がるだろうな」

「海上にも逃げる事ができるらしい」

「指揮官たちは喜ぶな……」

そんなこんなでこの2台は即刻採用が決定した。

sideムルタ

「これでまただいぶ金が稼げるな」

「ええ父さん」

「次はマストライバーの建設か」

「はい」

「マストドライバーで宇宙に大量に物資を打ち上げます」

「そしてL4にコロニーを作るのか？」

「はい」

「……成功するのか？」

「ええ」

「……よし許可しよう」

「ありがとうございます。」

「ムルタが設計した、宇宙船のエンジンは今までの宇宙船のエンジンとは隔絶した性能を誇るらしいからな」

「これで宇宙軍を強化します」

「そして月にいる化け物どもを排除します」

「そして月は合衆国が独占する……か」

「はい」

「まあがんばってくれ……MSの開発は進んでいるのか？」

「ええ後もう少しです。」

「コンセプトは、戦艦並の火力と戦車砲程度ではびくともしない頑丈な装甲、そしてとても高い機動性か・・・思いつき対人類のことを考えているな」

「別にいいでしょう、戦後の世界で合衆国が優位に立つために必要です」

「そうだな」

「後ビーム兵器も作っています。」

「ビーム兵器！？あの忌々しい光線級と同じことができるようになるか！？」

「はい」

「それはすごい！いつ実用化できそうか？」

「後半年ほどで・・・」

「すごく早いな」

「ええ」

「そうか楽しみだ・・・」

アズラエル財閥の工場はどんどん魔改造されていき、すさまじい生産能力を持つようになった。

そしてマストライバーは5大湖に1つ、パナマに1つ国家プロジェ

クトで作られることとなった。

アズラエル財閥は、まず5大湖のほうを集中的に建設することにした。

理由は、アズラエル財閥の工場が5大湖に結構集まっているから

工期は大体5年間くらい（めっちゃはやい）

そして3カ月後、作業用ロボット『メアフレーム』を作った

これは、ものすごく使い勝手がよく大量の受注があつた。

さてここで疑問に思うのは、どっからそんな大量の物資を持ってきたんだ！？

という疑問があるが、それはあのリングから

『資源製造マシン』というものを大量に購入したからだ

『ごみでも、BETAでも放り込んで好みの資源の原子構成図のデータをインプットとすれば

あら不思議入れた量の資源が出てきます』

うんこれはチートだ

1機1万ドルだったから、もう大量に買ったね

しかし主人公は知らなかった……これらのものは、神が簡単に作っており

元ではゼロ、神の世界でも金は必要らしい

つまり主人公は神の金を儲けさせているということになる

まあだがこれで資源の心配をする必要がなくなった。

主人公のチートは止まらない

チートはさらに進み……

sideムルタ

さて最初にどのMSを作ろうかと考えたのですが……

最終的に4つに絞られました。

ZGMF - 1017

MS - 06F

GAT - 02L2

RGM - 79

どれにしようかと迷ったんですが、汎用性を考えた結果 GAT - 02L2を採用することにしました。

しかし、動力は、核融合炉を使うことにしました。

理由は、バッテリーじゃあ長期戦になりがちなBETAの戦いに向かないと思ったため

バッテリーが切れて、BETAに飲み込まれたら元も子もないですよ？

核エンジンは……エコじゃないからね……放射性物質をどんどん量産することになるだろ

ん？いや待てよ、そういえばデパートに『放射能除去装置』があったような・・・まあいいか

核融合炉も汚染がないわけではないが・・・こちらのほうが効率も断然いいし、汚染も少ないし、爆発した際に核爆発！ということも早々起こらない

それにこれを選んだ理由はほかにもある

もともと地球連合が採用してただけあつて生産性が高いし

何よりもストライカーパックがとても魅力的だ

換装すればさまざまな戦況に対応できるからな

物量主体の合衆国にはびつたりだ

あとコックピットに部分には、ラミネート装甲にする。

もちろんコズミック・イラの優れたアンチビームコーティング技術も使用する。

これらは、合衆国専用であつて、もしもほかの国がMS寄越せといつてきたら

GAT-01ストライクダガーをくれてやるさ

これはストライカーパックの換装能力はないしいろいろとデチューンされているしね

アンチビームコーティングだって合衆国のやつよりも低いものを使うし

もちろん核融合炉なんて渡さない。まあヘリウム3がないと動かないけどね

欲しけりや木星へ行ってください。まあいく余裕なんてないだろうが

特殊な生成方法でヘリウム3を作り出すことが可能になったしね

これで木星まで行かなくてすむが・・・戦後のことを考えたら

GNドライブはぜひとも欲しい

動力はバッテリーにしてやる

おっと話がそれてしまったな

あれから1年がたちました。（現在1982年）

そして私に弟ができました。

とってもかわいいです！

もうとてもとても天使のようですね・・・

主人公は、重度のブラコンになってしまった。

それとソ連が期間50年でアラスカを租借することになりました。

絶対にアメリカ大陸にBETAを持ち込むなよ

戦術機の技術をパクッているくせに！特許料よこせ！

熊どもめ！ちゃんと土地も返せよ！帰さなかったら・・・フッフ・・・

それと第2世代戦術機が本格的に配備され始めました。

さらに、超巨大宇宙ステーション『世界樹』の建設が始まりました。

物資は、私が開発したHLVで打ち上げられるようです。

さらに1年がたち

1983年になりました。

BETA達が西進を開始しましたね

できるだけ食い止めて欲しいですが・・・

なんか無理そうですね・・・パレオロゴス作戦の影響がまだ残っているんですか・・・

全兵力の半分を投入して失敗したんですからね……

人的損害が半端なかったそうですね……

EUの本部がブリュッセルからロンドンに移ったそうですね。

ベルファストの本部ができるまでの一時的な処置だそうですが

ちなみに荷電粒子砲が完成しました。

トライアルをしたんですが……見事採用されましてね……航空宇宙軍で

使うそうです。

なので、ネルソン級宇宙戦艦とドレイク級護衛艦にアガムノン級宇宙空母を設計しましたよ

それにアークエンジェル級も設計したさ

大気圏内での母艦にするために……

輸送艦にコロンプス級も設計した……ちなみにMSの母艦としても使えるようにしてある。

海上艦艇では、ダニロフ級にスペングラ―級を設計しましたよ

ちなみにどれも採用が決定しました。

コスト的にもスペックにも問題ないしね

スペック

ドレイク級

全長 130m

武装 75mmガトリング機関砲×3

10セル小型ミサイルランチャー×4

対宙魚雷発射管×6

爆雷発射管×4

アガムムノン級

全長 300m

武装 225cm2連装高エネルギー収束火線砲

「ゴットフリート Mk.71」×2

大型ミサイル発射管×8

対空機関砲×50

特殊装備 MS射出力カタパルト×3

ネルソン級

全長250m

武装 2連装大型ビーム砲×3

2連装対空砲×8

多目的VLS×16

3連装対宙魚雷発射管×2

回転式ミサイル発射管

単装副砲×1

ダニロフ級

全長 190 m

速度 50ノット

推進機関 ガスタービン統合電気推進

武装 ウォンバット艦対空誘導弾VLS 15セル×7

スレッジハマーSSM埋め込み式発射筒 5連装×2+2連装×2

250ミリ単装リニアガン×1

連装艦対空ビームシステム×1

25ミリ機関砲×2

アンチビーム爆雷発射筒 4連装×2

スペングラー級

全長 200 m

武装 艦対空ビームシステム 2連装×4

これらは、強いアメリカを実現するために

海軍は800隻体制 航空宇宙軍は1600隻体制を実現するらしい

この宇宙艦隊は、地上で作ってマストライバーで打ち上げるらしい

1984年

地球周回軌道での核攻撃をベースとした最終防衛ライン「アーテミ

シーズ」が完成。

L1早期核投射プラットフォーム「スペーススワン」で目標を変更仕切れなかった場合の

対処が可能となったようですね。

これでハイブユニットの迎撃が完全にできるようになればいいのですが……

アズラエル財閥の70パーセントの工場がオートメーション化が完了しました。

これで生産能力はさらに上がるはずです。

マグドネル・ダグラム社のf-15cが配備がされ始めましたか

遠近ともに高い戦闘性能を誇っていましたが、でもMSとは雲泥の差ですけど

ですが、現時点で最強の戦術機であるということは、間違いありませんね

次々と世界各国で採用されているようですね……

MSができたならf-15は輸出用になりそうですね……コストもMSはf-15よりも低くしていますし

数カ月後

ああ残念

イランのアンバーにハイブができてしまいましたか……
石油の価格が高騰してしまいますよ！このままでは！ああああー
――！！

しかも、ノギンスクにもハイブが……

これで10個ですね……ハイブの数が……

何やってるんですか！ユーラシア諸国は！とにかくさらに援助しなければいけなくちゃった

じゃないですか！……

話は変わりますがMSの開発状況は、

機体と動力はすでに完成しましたが、装備とストライカーパックとCPUに時間がかかっておりまして……主にコスト……

まあ大量に生産してコスト削減するとしますか……

あと議会にも圧力をかけて……軍事費を増やさせないと……

BETAが来る！このままじゃ危ない！ってね

それに前からあった自然保護団体を大規模にして

自然保護BETA撲滅団体『ブルーコスモス』を結成しましたよ

合言葉はもちろん『青く清浄なる世界のために!!』ですよ

これでまず議会と軍部にブルーコスモス派を浸透させるとしましょう
政治を操るために……………

それとPS装甲の試作品を作り始めました。

これは実弾がほとんど効きませんからね、人類相手には最強ですよ
それに『世界樹』が完成しました。これは恒久的な宇宙基地として
活用するそうですね

1985年

ブタベストハイブ建設開始……………ですか

BETAはこれでさらに欧州へ進攻するようですね…………

大丈夫かな？欧州……………まだ戦力は回復していないそうですし

数カ月後

EU西ドイツ、フランスがBETAの進攻によって相次いで陥落……………

パリ攻防、ダンケルク撤退戦相次いで起こる……

英国本土防衛線始まる……

ああ……もうだめですね……欧州は……

大陸から追い出されましたか……欧州諸国は……

結構物資と戦術機は援助したんですが……

もうちょっと踏ん張ってほしかったんですがね……

それとMSは装備はすべて完成しました。あとはOSとCPUだけです
ですね

あともう少しです……フッフMSが完成するまで……

1カ月後

デトロイトマストライバーが完成しました。

これで宇宙に膨大な物資を打ち上げることができます。

航空宇宙軍は大軍拡中ですからね、完成した船がどんどんこれから
打ち上げられるでしょう

この大軍拡した宇宙軍で2000年までには月を奪還したいですね。

パナマのマストライバーも半年ほどで完成するらしいですし

それにP S装甲もできました。早速試作機を作らなければ・・・

ちなみに試作機は、もちろんG A T X - 1 0 5です。

ストライカーパック、M B Fも開発が完了してますしO SもC P Uももうすぐ完成しますしね

もうO SやC P Uは今のやつとは雲泥の差ができていますからね

ああ完成が楽しみです！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8009x/>

マブラヴ転生記

2011年10月23日20時00分発行